

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	文化振興事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画	
基本政策(大項目)	3	心豊かで多彩な人材を育む鳴門づくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 46年度
政策(中項目)	2	自己実現都市なると			
(小項目)		文化振興(①文化・芸術)		終期	未定 ▼
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進			
基本事業	1	市民が参加・体験する機会づくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流し、にぎわいづくりを推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		文化ボランティア団体数	28	29	29	29	30	団体

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門市芸術祭として、5月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊。また、文化月間(5月15日～6月14日)協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施したほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施した。さらに「鳴門市文化協会40周年記念誌」を活用し、文化団体相互の連携を強め、文化活動の支援を図った。そのほか、文化活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行った。平成25年度は市民文化講座の新規開設が3件あり、計20講座となり、文化ボランティア団体数も29団体になった。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	芸術祭開催延べ日数	22	26	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	17	20	20	20	21	講座
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>	文化ボランティア団体数		28	29	—	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)		1,077	2,006	1,152	1,152	1,152	千円
財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	150	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	205	186	204	204	204	
	一般財源	872	1,670	948	948	948	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		11,788	13,034	13,034	13,034	13,034	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	
	臨時職員等(2,012千円/人)	1.0	0.0				
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		12,865	15,040	14,186	14,186	14,186	千円

【事務事業名:文化振興事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	鳴門市芸術祭の開催、情報提供や音響・照明・映像機器の貸し出しを継続して行う。 また「文化協会40周年記念誌」を活用し、文化団体相互の連携を図り、文化活動の支援を図る。 さらに、市民文化講座の新規開設の募集をしたり、文化ボランティア活動に関する相談に応じたり、文化振興・推進を目的としたNPO等と連携を深めることにより、文化ボランティア活動の活性化を図る。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	市民の作品発表の場と鑑賞の場を確保し、鳴門市の文化振興のために必要な事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策「暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市展、文化展、芸能祭等の開催は、市民の文化活動への参加、芸術文化に対する意識の向上が図られる。
<input checked="" type="checkbox"/>		② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	鳴門市芸術祭については、鳴門市文化協会に委託して事業を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	さらなる文化振興、にぎわいづくりのため庁内各課との連携を図るとともに、NPO等関係団体の協力を得ていかなければならない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				